

# オンライン面会のご案内

## ご面会時間について

木曜・日曜・祝祭日以外の14時～16時  
面会時間/10分程度

## ご予約方法

下記のQRコードからLINEの「友だち追加」をして頂き、メッセージに日時、ご希望時間、病棟名、患者氏名、予約者氏名、続柄、携帯番号を記載して送信して下さい。

日程が決まり次第、当院より、メッセージを送らせていただきます。

当日予約は受け付けておりません。

尚、病状によっては医師の判断により面会を中止させていただくこともありますのでご了承ください。

## ご利用対象者

面会者：LINEが使える端末機器を所持している、2親等以内のご家族、後見人、保佐人、または、主治医が特別に認めた方

問い合わせ先  
医療法人同和会 千葉病院  
電算課 高橋・富田  
TEL:047-466-2176



# 医療法人 同和会 千葉病院

## 【病院概要】

診療科

精神科・神経科・歯科(要予約)

院長

小松 尚也

外来診療時間

平日9:00～12:30(月曜日のみ9:30～12:30)

土曜日9:00～12:30(午後は予約制)

休日

木曜日・日曜日・祝祭日・6月1日(創立記念日)

所在地

〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-508

TEL:047-466-2176 FAX:047-466-7503

ホームページ://www.dchp2176.com

千葉県認知症疾患医療センター

TEL:047-496-2255 FAX:047-496-2256



## 千葉病院 患者様の権利

個人として、人格およびプライバシーが尊重されます。  
安全な環境で、可能な限りの良質な医療が提供されます。  
職員のいかなる行為に対しても説明を求め苦情を申し立てることができます。  
精神保健福祉法に則った医療および処遇が保障されます。  
職員から思想・信条・宗教および個人的関係は強制されません。  
個人情報保護されます。

発行:医療法人同和会 千葉病院  
発行日:令和5年5月  
住所:千葉県船橋市飯山満町2-508  
047-466-2176 Fax 047-466-7503  
URL://www.dchp2176.com

## 編集後記

精神疾患を抱える患者さん、特に中高年の方の多くが、口腔や歯の状態にも問題を抱えているそうです。当院の院内歯科は、医師1名、衛生士1名の小所帯ではありますが、永年にわたって治療実績を積んできました。外来患者さんで当院の歯科治療を希望される方は、是非お問い合わせください。



千葉病院広報紙 2023・春号(第77号) 発行者 医療法人同和会 千葉病院

# デイケア桜祭り

コロナ禍により、病院全体でのレクリエーションは未だ難しい状況にありますが、部門や病棟ごとに、感染対策などに気を配りながら、さまざまなレクリエーションを企画・開催しております。

千葉病院デイケアでは、利用者さんとスタッフが一緒に、季節を感じるさまざまなレクリエーションイベントを考え、開催しています。

今回は、春を感じる「桜祭り」を開催いたしました。

4月4日(火) デイケア桜祭りを実施しました。

今年は、デイケア所内に3か所のブースを企画し、皆さんに色々な活動に参加して頂きました。3つのブースを紹介します。

1つ目は【桜茶屋】

桜の花(もちろん本物)を囲み、お茶をしながらの歓談スペース

2つ目は【桜工房】

レジンを使った桜の花のストラップ作り

3つ目は【桜キッチン】

桜もちの手作り体験コーナー

昼には、お花見弁当を、帰りの会では自分で作った桜もちを食べ桜の花に囲まれた1日を過ごして頂きました。

春はやっぱり桜。桜の花って皆大好きですね。スタッフもメンバーさんと一緒に楽しい1日を過ごしました。



プライバシー保護のため、顔写真にスタンプを貼っております

ここでは、千葉病院の活動を紹介するコーナーです。

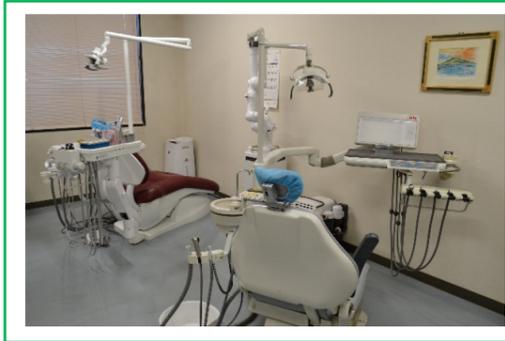
# 歯科室の紹介

歯科 林 龍介

## 千葉病院歯科室の紹介

歯科室は現在、歯科医師1名、歯科衛生士1名が在籍しています。

主な業務は入院患者さんの歯科治療を行っています。が、外来患者さんについても現在は開放されており、有病者、障害者を問わず受診が可能です。



歯科室。2台のユニットで治療に当たっています。

## 歯科室の歴史

精神科に歯科が併設されていることがあることをご存じでない方が多いと思われませんが、心の疾患を抱えた患者さんにおいて、特に口腔内に色々な問題を生じることあまり知られていないことではないでしょうか？

歯科室は、千葉病院開設後まもなくして入院患者さんの口腔内環境の劣悪さから、近隣歯科医院の船橋歯科医師会元会長である故谷内良弘先生のご尽力により、2週に1回のペースで長年運営されておりました。

そして平成12年頃より林が診療に参加させていただき、そのまま歯科室運営を引き継ぎました。現在、専任として週3回に回数を増やして、衛生士の佐久間さんという大きな助けを得て現在まで、院内外の口腔的な問題の解消に努めております。

最近までのコロナ禍により、一時というには長い時間外来患者さんの受け入れを一部制限しておりましたが、コロナの終息に伴い制限を解除できました。

## 歯科受診について

現在診療日が月水金のみであり、入院患者さんの治療を行う関係上完全予約とさせて戴いており、お電話または直接歯科室にてご予約を戴いております(基本的に月水金の歯科診療日においてのみ対応可)

お早めにご連絡いただくとスムーズに開始することができると思います。

千葉病院代表番号(047-466-2176)に連絡していただいた上で診療の件で歯科室へつないで欲しいことをお伝え下さい。また精神科外来受診中の患者さんの場合、精神科診察時に担当医へ歯科を受診したい旨、伝えて戴くと受診予約がスムーズです。

診療室は外来の一番奥にあります。受診日は外来受付機に診察券を通さず、そのまま予約時間までに外来受付に一声かけて外来内を進み、歯科室へ声をかけて下さい。

# 市民公開講座

市民公開講座

「健康な脳の維持のために:脳神経内科の疾患について」  
日程

2023年6月4日(日)

時間

第一部 13:00～14:00(12:30開場) 第二部 14:10～15:10

会場

ペリエホール「Room A+B」

定員

270名

申込

完全事前申込制(先着順)です。

申込数が定員に達した場合、期限前でも申し込みを締め切る場合がございます。

申込みの結果は、後日あらためて申し込み時に入力されたE-mailもしくは郵送にてご案内します。

第64回日本神経学会学術大会  
市民公開講座  
健康な脳の維持のために  
脳神経内科の疾患について

2023年6月4日  
13:00～15:10  
JR千葉駅ペリエ千葉  
7階ペリエホール「Room A+B」  
7階ペリエホール「Room A+B」  
〒260-0031 千葉県中央区千歳1-1-1(千葉県船橋)  
TEL:043-445-8300

参加無料  
定員270名  
要申込  
申し込み締切  
2023年5月25日(木)午後5時

セッション	時間	講師	所属
1	13:00～14:00	藤道 仁	脳神経内科 千葉
2	14:10～15:10	北野 邦孝	脳神経内科 千葉
3	14:10～15:10	平賀 陽之	脳神経内科 千葉
4	14:10～15:10	関口 緑	脳神経内科 千葉

主催:第64回日本神経学会学術大会、一般社団法人日本神経学会  
後援:千葉市

申込方法  
申し込み期間:2023年5月25日(木)午後5時～2023年6月1日(金)午後5時  
申し込み方法:お申し込みは、お申し込み用紙をダウンロードし、お申し込み用紙に記入の上、FAXにて送信

千葉病院 Dr による医療コラム 第44回

## 統合失調症の再発を防ぐために その2

千葉病院医師 島田侑佳

今回は、再発を防ぐためには、お薬をきちんと続けること、再発サインに早く気づくことが重要であるとご説明しました。

今回は、そのポイントについてお話しします。

統合失調症では、お薬をきちんと続けることが非常に重要です。治ったと思って、患者さんご本人やご家族の判断で治療をやめないでください。服薬や注射をやめると、再発する可能性がとても高くなります。その一方で、治療をきちんと続けられれば、再発する可能性は1/5にまで低下するといわれています。お薬をきちんと飲んでいる人ほど、入院する割合が低くなるというデータもあります。

「お薬をきちんと続けること」のポイントは、アドヒアランスを高めることです。アドヒアランスとは、自分で積極的に治療に参加し、医師やスタッフと治療法を選び、実行することを意味しています。「このお薬で治療を受けたい」とご本人が考えること、ご本人が続けやすいお薬を選ぶことが重要です。統合失調症のお薬には、下記のようにさまざまな剤形があります。

錠剤: 保存性に優れており、水と一緒に飲みます。

舌下錠: 舌の下に入れて溶かすタイプの錠剤です。

散剤: お薬を細粒や粉状にしたもので、錠剤をうまく飲めない方に適しています。

OD錠(口腔内崩壊錠): 飲むと口の中で溶けるので、のどにつかえにくいです。水なしでも飲むことができます。

内用液: そのまま飲みます。携帯に便利な分包タイプもあります。

貼付剤: 1日1回、胸、腹、背のいずれかに貼るタイプのお薬です。

注射剤: 持続性注射剤(持続性注射剤)は1回の注射で数週間から12週間効果が続きます。

主治医と相談して、病状やライフスタイルに合った、続けやすいお薬を選びましょう。患者さんご本人やご家族の判断で服用(使用)や通院をやめてしまわないように、お薬による治療のことで希望や心配や疑問がある場合は、必ず医師に相談してください。

